



取扱説明書

TVE-T860

8インチ・タッチパネル・ワイドVGA・テレビ

目次



安全にお使いいただくために

目次	表紙
警告／注意	2



基本操作

本体キーの名称	4
タッチスイッチの操作について	4
電源の ON/OFF	5
音量を調整する	5
映像ソースを切りかえる	5

TV 操作

自動的にチャンネルを記憶する	6
記憶した放送局を呼び出す	6
放送局を選ぶ	6
TV の音声を切りかえる (二重音声放送)	6

セットアップ操作

GENERAL セットアップ	7
DISPLAY MODE の設定	7
バックライトの明るさを設定する	8
リアモニターセレクト機能	8
音声出力の切りかえ	8
操作音の切りかえ	8
タッチパネル操作振動の ON/OFF	8
外部入力音声レベルの調整	8
外部入力に表示名をつける	9
リアカメラの設定	9
ナビゲーションモードを設定する	9
バックライトのレベルを設定する	9
音声を FM ラジオで聴く (FM トランスミッター機能)	9
タッチパネルの調整	9
ナビゲーションタイプを設定する	10
設置場所を設定する	10

VISUAL EQ™ 設定機能	10
VISUAL EQ モードを選ぶ (メーカー設定)	10
VISUAL EQ を記憶する	11
映像の明るさを調整する	11
映像の色の濃さを調整する	11
映像の色あいを調整する	11
映像コントラストを調整する	11
映像画質を調整する	11

ナビゲーション画面に切りかえる (オプション)

ナビゲーションモードにする	12
---------------	----

AUX 操作 (オプション)

AUX (外部入力) モードにする	13
-------------------	----

S-VIDEO 操作 (オプション)

S-VIDEO (S 映像入力) モードにする	13
-------------------------	----

他製品をタッチ操作する

他製品をタッチ操作する	14
-------------	----



取り付けと接続

取り付けと接続	16
---------	----

その他

故障かな?と思ったら	29
規格	30
保証について	30
お問い合わせ窓口	31

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30～17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (Y-625)
68-04123Z80-B

⚠安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が死亡または重傷を負う可
能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届か
ないところに保管してください。飲み
込んだ場合には、ただちに医師と相談
してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア
数）を守ってください。事故・火災の
原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続
しないでください。事故・火災の原因
になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナ
ス端子からアース線を外して、配線作
業をしてください。感電・ケガの原因
になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電
源を取らないでください。火災・感電
の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・
変速レバーなど運転操作を妨げる場
所、同乗者に危険をおよぼす場所には、
取り付けしないでください。事故・
ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンド
ル・ブレーキ・タンクなどのボルトや
ナットを使わないでください。制動不
能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙
が出る、変な臭いがしたときには、た
だちに使用を中止して、お買い上げ店
に相談してください。事故・火災・感
電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たり
しないでください。事故・ケガの原因
になります。操作や画面を見る場合に
は、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならない
ように束ねてください。ハンドル・変
速レバー・ブレーキペダルなどに巻き
付くと、事故・故障の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・
タンク・電気配線などを傷つけないで
ください。事故・火災の原因になりま
す。



助手席エアバッグの近くに製品を取り
付けしないでください。エアバッグの動
作を妨げ、事故・ケガの原因になりま
す。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が傷害を負う危険が想定され
る内容および物的損害のみの発生が想定
される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してくだ
さい。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、
突起部に当てたりしないでください。
断線やショートにより、感電・火災の
原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでくだ
さい。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっか
りと取り付けてください。事故・故障
の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多
いところには取り付けしないでくだ
さい。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

製品のお手入れ

お手入れは乾いた布か強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

モニターのお手入れ

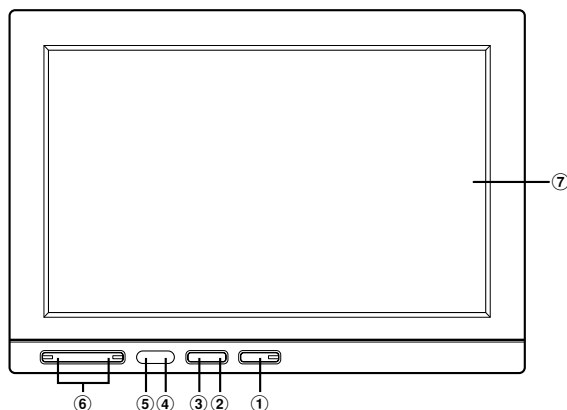
- モニターが汚れたら柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニター表面は傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったりしないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーは使用しないでください。変色、変質の原因になります。

お読みください

- NV7-N099S/NV7-N099SSと接続した場合は、リアモニターへのナビゲーション映像出力はされません。
- 車内に本製品を含む弊社TVモニターを2台以上設置する場合、リモコン操作により誤作動する可能性がありますのでご注意ください。

基本操作

本体キーの名称



- ① **SOURCE ボタン**
「SOURCE」ボタンを押すごとに映像ソースが切りかわる。
- ② **POWER インジケーター**
- ③ **POWER ボタン**
「POWER」ボタンを押し電源をON、またもう一度押すと電源をOFF。
- ④ **DIMMER センサー**
車内の明るさを感知する。
- ⑤ **リモコン信号受光部**
別売のリモコンで操作するときリモコン受光部に向けて2 m以内で使用する。
接続したアルパイン製ナビゲーションやDVD プレーヤーなどのリモコン信号を受信する。
- ⑥ **ボリューム**
「∧」または「∨」を押して調整する。
- ⑦ **メインディスプレイ**

本書での本体スイッチ表示について

- 本体のスイッチを押すときは、「○○○」（「SOURCE/POWER」など）でスイッチ名称を表示しています。

本書でのタッチスイッチ表示について

- タッチスイッチにタッチするときは、[○○○]（「SOURCE」など）でスイッチ名称を表示しています。
- 本書では、タッチスイッチと本体スイッチが同じ機能をする場合は、タッチスイッチをメインに説明しています。



タッチスイッチの操作について

本機は、PULSETOUCH™ 機能を備えております。

PULSETOUCH™機能とは…？

- 本機のメインディスプレイパネルをタッチすると、メインディスプレイパネル表面が振動し指先に伝わります。メインディスプレイパネルをタッチしたときのクリック感やキーエリア認識をより高めた機能です。



- メインディスプレイ保護のため、タッチスイッチは指の腹で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。

電源の ON/OFF

- 1 イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。
- 2 「POWER」を押す。
システム電源がONになる。
- 3 電源を切るときは、「POWER」を押す。
システム電源がOFFになる。



- 動きのない画面を長時間表示させないでください。同じ画像を長時間表示しているとその画像が他の画面に残ってしまうことがあります。
- 電源を入れた直後は、画面が暗く見にくいことがありますが、数分たちますと正常表示になります。
- 走行中は、一部の操作しかできません。（SETUP、VISUAL EQ™モードなどの操作は、車を停止させてから行ってください。）
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。
- パーキングブレーキをかけていないときは、「PICTURE OFF FOR YOUR SAFETY」が表示されます。

音量を調整する

- 1 「∧」または「V」を押して、音量を調整する。
VOLUME：0～30

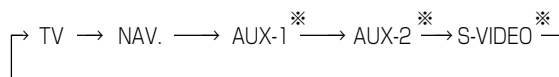


- AUX-2/S-VIDEOの名称をDVD HUIに変更した場合は、ヘッドユニットの音量調整を行います。（「外部入力に表示名をつける」9ページ参照）

映像ソースを切りかえる

● モニター本体のスイッチ操作の場合

- 1 「SOURCE」ボタンを押すごとにソースが切りかわる。
各メインソース画面に切りかわる。



NAV.：ナビゲーション画面を表示する。（アルパイン製ナビゲーションを接続した場合）

AUX-1/AUX-2/S-VIDEO：AUX-1/AUX-2/S-VIDEO INPUT 端子に接続したDVD ビデオプレーヤーなどの画面を表示する。

※「外部入力に表示名をつける」(9ページ)でOFF以外に設定した場合に、選択したモード名称で表示されます。

● タッチパネル操作の場合

- 1 ディスプレイの任意の箇所にタッチし、各ソース操作画面を表示させる。

- 2 画面左上の「SOURCE」にタッチし、ソース選択画面を表示させる。

- 3 ご覧になりたいソースにタッチする。

<ソース選択画面表示例>



→ 選択できるソースモードが表示される。（接続・各設定により表示されるソースモードの種類は異なります。）

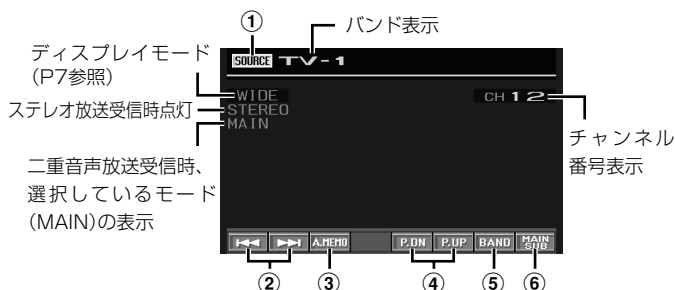
各メインソース画面に切りかわる。



- タッチパネル対応ナビゲーションが接続されている場合の操作は、「ナビゲーションモードにする」(12ページ)を参照してください。
- ソース名称は、「セットアップ操作」の「外部入力に表示名をつける」(9ページ)で選択したモード名称になります。
- 各ソース操作画面は、5秒間何も操作を行わないと表示OFFになります。

- 4 他のソースに移るときは、メインソース画面の「SOURCE」にタッチする。

< TV メイン画面表示例 >



- ① [SOURCE]スイッチ:P7ページ参照
- ② [P.DN], [P.UP]スイッチ
- ③ [A.MEMO] スイッチ
- ④ [P.DN], [P.UP] スイッチ
- ⑤ [BAND]スイッチ
- ⑥ [MAIN, SUB]スイッチ

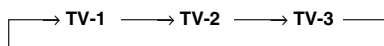
TV 操作

自動的にチャンネルを記憶する

1 各メインソース画面上の[SOURCE]にタッチする。
ソース選択画面が表示される。

2 [TV]にタッチする。
TVモードメイン画面に切りかわる。

3 [BAND]にタッチしてバンドを選ぶ。



4 [A.MEMO]にタッチする。
電波の強いチャンネルを記憶しCH 番号を表示する。
オートメモリーが終わると、CH番号 UP 側で近い放送局を表示する。



- 手動での記憶はできません。
- TV-1およびTV-2、TV-3モードそれぞれに62局まで記憶できます。
- 受信状態によって、映りの悪い放送局を記憶する場合があります。
- 受信可能な放送局がなかった場合は「NO PRESET」と表示後、オートメモリーを始めたときの放送局に戻ります。

記憶した放送局を呼び出す

「自動的にチャンネルを記憶する」で記憶した放送局の中から、放送局を選ぶことができます。

1 ディスプレイの任意の箇所にタッチしファンクションキーを表示させる。

2 [P.DN]または[P.UP]をタッチするごとに記憶されている放送局が切りかわる。
選択した放送局が受信される。

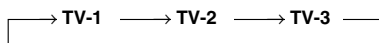
放送局を選ぶ

● 自動で放送局を選ぶ

「自動的にチャンネルを記憶する」で記憶した放送局にかかわらず、受信できる放送局を探することができます。

1 ディスプレイの任意の箇所にタッチしファンクションキーを表示させる。

2 [BAND]にタッチしてバンドを選ぶ。



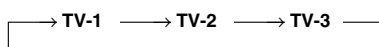
3 [P.DN], [P.UP]を1秒以上タッチすると画面に「SEEK」と表示され受信可能な放送局を自動的に探す。さらに、別の放送局を探す場合は、同じ操作を繰り返す。

● 手動で放送局を選ぶ

「自動的にチャンネルを記憶する」で記憶した放送局にかかわらず、1チャンネルずつ放送局を探することができます。

1 ディスプレイの任意の箇所にタッチしファンクションキーを表示させる。

2 [BAND]にタッチしてバンドを選ぶ。

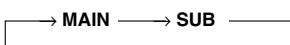


3 [P.DN], [P.UP]にタッチするごとに1chずつ、チャンネルUPまたはチャンネルDOWN選局ができる。

TVの音声を切りかえる(二重音声放送)

1 ディスプレイの任意の箇所にタッチし、ファンクションキーを表示させる。

2 [MAIN SUB]にタッチする。



- MAIN時のみ画面にMAINと表示され、SUB時は画面に表示されません。

MAIN：主音声のみ

SUB：副音声のみ

TVモードのとき、各操作から5秒経過すると、操作画面から、TV画面に切りかわります。再度、操作画面を表示させるには、メインディスプレイにタッチしてください。



セットアップ操作

GENERAL セットアップ

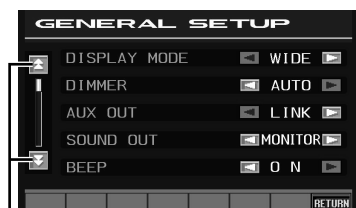
次の手順 1 ～ 4 は、GENERAL セットアップの共通操作になります。セットアップ項目の詳細は、それぞれの設定項目を参照してください。

- 1 「SOURCE」を2秒以上押す。
SETUP 選択画面が表示される。
- 2 [GENERAL SETUP] にタッチする。
GENERAL SETUP 画面に切りかわる。
- 3 お好みの設定項目の[◀]または[▶]にタッチして設定を変える。

設定項目：

DISPLAY MODE / DIMMER / AUX OUT /
SOUND OUT / BEEP / PULSE TOUCH /
AUX IN1・2 LEVEL/ AUX IN1・2 MODE /
S-VIDEO MODE / CAMERA IN / NAV. MODE /
DIMMER LEVEL HIGH / DIMMER LEVEL LOW /
FM T. / NAV. TYPE / SCREEN ALIGNMENT /
INSTALL POSITION

< GENERAL SETUP 画面表示例 >



[▲]、[▼]にタッチすると、一画面ずつスクロールする。

- 4 [RETURN] にタッチすると、通常画面に戻る。

- GENERALセットアップモード時(システムが自動的に書き込みをしているときは、イグニッションキー(エンジンキー)をOFFにしないでください。イグニッションキー(エンジンキー)をOFFにすると、設定が変更されない場合があります。

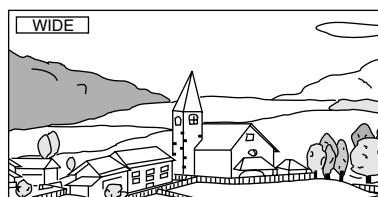


DISPLAY MODEの設定

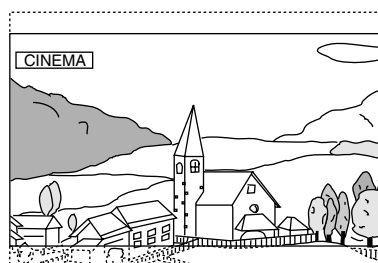
[◀]、[▶] をタッチすることによりモードが切りかわります。

設定項目： DISPLAY MODE

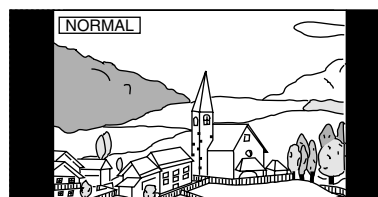
設定値： WIDE/CINEMA/NORMAL



ノーマル映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。



ノーマル映像を垂直方向に拡大します。
16:9 のシネマサイズの映像に適しています。



通常のテレビ放送 (4:3) の映像は中央に映ります。
(ノーマル映像)



Memo

- ナビゲーションモードではWIDE固定となり、本設定を設定することができません。

セットアップ操作

バックライトの明るさを設定する

車内の明るさに連動して液晶パネルに内蔵されているバックライト（蛍光灯）の明るさを切り替え、画面を見やすくすることができます。

設定項目： DIMMER

設定値： HIGH / LOW / AUTO

HIGH：画面の明るさが、「バックライトのレベルを設定する」（9 ページ）の DIMMER LEVEL HIGH で設定した明るさになる。

LOW：画面の明るさが、「バックライトのレベルを設定する」（9 ページ）の DIMMER LEVEL LOW で設定した明るさになる。

AUTO：車内の明るさに連動して画面の明るさを自動で調整する。

リアモニターセレクト機能

他（リア）モニターが接続されている場合、本機からの操作でリアモニターの映像/音声を切りかえることができますので前席のモニターとリアモニターとで別々の映像/音声が楽しめます。

設定項目： AUX OUT

設定値： LINK / NAV. / AUX-1 / AUX-2 / S-VIDEO

LINK：リアモニターに本モニターで映し出されている映像 / 音声出力される。

NAV.：リアモニターにナビゲーションの映像 / 音声出力される。

AUX-1：リアモニターに AUX1 の映像 / 音声出力される。

AUX-2：リアモニターに AUX2 の映像 / 音声出力される。

S-VIDEO：リアモニターに S-VIDEO の映像が出力される。



- NAV. は「ナビゲーションモードを設定する」（9 ページ）で OFF 以外に設定したときに表示されます。
- AUX-1/AUX-2/S-VIDEO は「外部入力に名前をつける」で OFF 以外に設定したときに表示されます。

音声出力の切り替え

設定項目：

設定値： SOUND OUT
OFF / MONITOR /
HEADPHONES

OFF：モニター内蔵のスピーカーやヘッドホンから音声出力されない。
（ナビゲーション割り込み音声のみ出力される）

MONITOR：モニター内蔵のスピーカーから音声を出力する。

HEADPHONES：別売のヘッドホンから音声を出力する。

※ 音声出力の設定が適切でないと、音が出ませんのでご注意ください。



- AUX2、S-VIDEO を DVD HU に名称変更した場合、ヘッドユニットで音量調整を行います。この時、内蔵スピーカー/ヘッドホンからは音声は出力されません。内蔵スピーカー/ヘッドホンから音声を出力するには、「設置場所の設定」（10 ページ）を REAR に設定してください。
- ナビ割り込み音声の出力レベルは、ナビモードのボリューム値と同じ音声レベルになります。

操作音の切り替え

メインディスプレイにタッチしたときや本体スイッチを押したときに操作音を鳴らして操作を受けつけたことを伝えます。

設定項目： BEEP

設定値： OFF / ON

ON：操作音を鳴らす。

OFF：操作音が出なくなる。

タッチパネル操作振動の ON/OFF

タッチパネル操作時の振動の ON/OFF 設定ができます。

設定項目： PULSE TOUCH

設定値： OFF / ON

OFF：操作入力時に振動させない。

ON：操作入力時に振動させる。

外部入力音声レベルの調整

設定項目： AUX IN 1 LEVEL / AUX IN 2 LEVEL

設定値： HIGH / LOW

HIGH：外部入力の音声レベルを大きめに設定する。

LOW：外部入力の音声レベルを小さめに設定する。



- 「外部入力の名称設定」で AUX IN 1 MODE / AUX IN 2 MODE が OFF 設定時は、本設定は切りかえできません。

外部入力に表示名をつける

外部入力した製品のモード名称を下記の中から選択します。ソース選択時のタッチスイッチ名称や再生中のソース名称が選択されたモード名称になります。

設定項目： AUX IN 1 MODE / AUX IN 2 MODE / S-VIDEO MODE

設定値：

AUX IN 1： OFF / DTV / EXT.DVD / GAME / AUX-1

AUX IN 2： OFF / EXT.DVD / GAME / AUX-2 / LINK / DVD HU

S-VIDEO： OFF / S-VIDEO / DVD HU



● OFFに設定すると、本機からのAUX、S-VIDEO関連の操作はできなくなります。

リアカメラの設定

リアカメラを接続している場合、バック映像を出力させます。

設定項目： CAMERA IN

設定値： OFF / ON

ON： シフトレバーをバック（R）に入れなくてもSOURCE選択画面上のCAMERAソースを選ぶとバック映像が出力される。

OFF： SOURCE選択画面上にCAMERAソースは表示されない。



● シフトレバーをバック（R）に入れると、連動でバック映像が出力されます。リバースコードが接続している場合に有効です。

ナビゲーションモードを設定する

ナビゲーションを接続した場合は、NAV.に設定してください。

設定項目： NAV. MODE

設定値： OFF / NAV. / EXT.

OFF： ナビゲーションソースは表示されない。本機からのナビゲーション関連の操作は出来なくなる。

NAV.： ナビゲーションソースを表示させる。

EXT.： ソース名をEXT.と表示する。

バックライトのレベルを設定する

本機はバックライトHIGH及びLOWの明るさを調整することができます。例えば、夜間走行時に画面の明るさを微調整するときなどに使います。

● 明るさの上限を設定する

設定項目： DIMMER LEVEL HIGH

設定値： 16～31

最大値MAX(31)から最小値MIN(16)まで調整することができる。

レベル調節時、最大値時「MAX」、最小値時「MIN」と表示する。

● 明るさの下限を設定する

設定項目： DIMMER LEVEL LOW

設定値： 0～15

最大値MAX(15)から最小値MIN(0)まで調整することができる。

レベル調節時、最大値時「MAX」、最小値時は「MIN」と表示する。

音声 FM ラジオで聴く (FM トランスミッター機能)

周波数は76.8MHz から78.7MHz の間で合わせます。また0.1MHz 単位で設定できます。

設定項目： FM T.

設定値： $\begin{matrix} \rightarrow 76.8\text{MHz} \leftrightarrow 76.9\text{MHz} \leftarrow \\ \rightarrow \text{OFF} \leftrightarrow 78.7\text{MHz} \dots\dots \leftarrow \end{matrix}$

タッチパネルの調整

LCD上の表示位置とタッチパネル上のタッチ位置が一致しなくなった場合に調整してください。

設定項目： SCREEN ALIGNMENT

設定値： $\blacktriangleleft$ (RESET) / $\blacktriangleright$ (SETUP)

1. SCREEN ALIGNMENT の $\blacktriangleright$ にタッチする。
調整画面に切りかわる。

2. 左下の $\blacksquare$ マークに正確にタッチする。
調整画面が切りかわる。

3. 右上の $\blacksquare$ マークに正確にタッチする。
調整を終了して、GENERAL セットアップモード画面に戻る。



- $\blacksquare$ マークでないところへタッチした場合は、 $\blacktriangleleft$ にタッチしてください。工場出荷時の調整画面に戻ります。
- 調整画面上の [RETURN] にタッチした場合は、何も調整されず、GENERAL セットアップ画面に戻ります。

セットアップ操作

ナビゲーションタイプを設定する

接続するナビゲーションによってタイプを切りかえてください。

設定項目： NAV. TYPE

設定値： TYPE1 / TYPE2

TYPE1： NVE-N555シリーズ以外（NVA-HD55シリーズ / NVE-N099シリーズ）のNAVI接続時

TYPE2： NVE-N555シリーズ接続時



●「ナビゲーションモードを設定する」(9ページ)がOFF設定時は本設定は切りかえできません。

設置場所を設定する

本機を後部座席に設置し、別売ヘッドホン/内蔵スピーカーを使用する場合は、本設定を REAR に設定してください。FRONTに設定すると別売ヘッドホン/内蔵スピーカーを使用する際、音量調整ができなくなります。

設定項目： INSTALL POSITION

設定値： FRONT/REAR

FRONT： 本機をフロントに設置する。

REAR： 本機を後部座席に設置する。

VISUAL EQ™ 設定機能

次の手順 1～5 は、VISUAL EQ 設定機能の共通操作になります。設定機能項目の詳細は、それぞれの設定項目を参照してください。

1 「SOURCE」を2秒以上押す。
SETUP 選択画面が表示される。

2 [Visual EQ] にタッチする。
VISUAL EQ 画面に切りかわる。



3 [▲]または[▼]にタッチして、お好みの設定項目を選ぶ。

設定項目：

BRIGHT ↔ COLOR* ↔ TINT* ↔ CONTRAST ↔

SHARP* ↔ VISUAL EQ MODE* ↔

USER MEMORY*

* ナビゲーションモード(RGB NAV.接続)時に設定することはできません。

4 選んだ設定項目の[◀]または[▶]にタッチして設定をかける。

5 [RETURN] にタッチすると、通常画面に戻る。



● CAMERAモードでは、Visual EQ設定を行うことはできません。

VISUAL EQ モードを選ぶ（メーカー設定）

色々な映像に応じて、モードを選ぶことができます。

設定項目： VISUAL EQ MODE

設定値： OFF / NIGHT M / SOFT / SHARP / CONTRAST / P-1 / P-2

OFF： 工場出荷時設定

NIGHT M： 暗いシーンが中心の映画に最適

SOFT： CG、アニメーションの映画に最適

SHARP： 映像がくっきりしていない古い映画に最適

CONTRAST： 最新の映画に最適

P-1： 「VISUAL EQを記憶する」(次項目)でプリセット No. P-1 に記憶した VISUAL EQ モードを呼び出す。

P-2： 「VISUAL EQを記憶する」(次項目)でプリセット No. P-2 に記憶した VISUAL EQ モードを呼び出す。



- NIGHT M～CONTRASTのいずれかを選択後、お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した後に、あらためて初期値に戻す場合は、本機能の設定をOFFにしてください。
- いずれかのモードを選択後、お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合は、CUSTOMと表示されます。

VISUAL EQ を記憶する

お好みで調整した「映像の明るさ / 色の濃さ / 色あい / コントラスト / 画質」を記憶することができます。

設定項目： USER MEMORY

設定値： P-1 / P-2

1. 「映像の明るさ / 色の濃さ / 色あい / コントラスト / 画質」(11 ページ) を調整後、USER MEMORY の[◀]または[▶]にタッチして、記憶させたいプリセット No. P-1、P-2 を選ぶ。
2. プリセット No. 選択後、[WRITE] にタッチする。調整した VISUAL EQ モードが記憶される。



- ここで記憶した VISUAL EQ モードは、「VISUAL EQ モードを選ぶ」(前項目)の P-1、P-2 から呼び出すことができます。

映像の明るさを調整する

設定項目： BRIGHT

設定値： - 15 ～ + 15

- 15 ～ + 15 の間で明るさを調整する。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示する。



- 「バックライトの明るさを設定する」(8 ページ) で AUTO に設定していれば、車内の明るさに連動して映像の明るさが自動的に調整されます。

映像の色の濃さを調整する

設定項目： COLOR

設定値： - 15 ～ + 15

- 15 ～ + 15 の間で色の濃さを調整する。最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示する。



- 色の濃さの調整は、NAV. (RGB NAV. 接続) モードではできません。

映像の色あいを調整する

設定項目： TINT

設定値： G15 ～ R15

G15 ～ R15 の間で色合いを調整する。最大値時は「G MAX」、 「R MAX」とそれぞれ表示する。



- 色あいの調整は、NAV. (RGB NAV. 接続) モードではできません。

映像コントラストを調整する

設定項目： CONTRAST

設定値： - 15 ～ + 15

- 15 ～ + 15 の間でコントラストの調整をする。最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示する。



- 「バックライトの明るさを設定する」(8 ページ) で AUTO に設定していれば、車内の明るさに連動して映像のコントラストが自動的に調整されます。

映像画質を調整する

設定項目： SHARP

設定値： - 15 ～ + 15

- 15 ～ + 15 の間で画質の調整をする。最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示する。



- 映像画質の調整は、NAV. (RGB NAV. 接続) モードではできません。

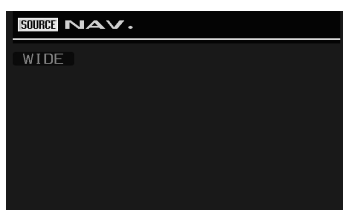
ナビゲーション画面に切りかえる (オプション)

ナビゲーションモードにする

当社のナビゲーション製品が接続されている場合、本機にナビゲーション画面を表示させることができます。

また、ナビゲーション側の電源がONの状態ならば、ナビゲーションの音声が入ります。(設定については、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。)

- 1 各メインソース画面の [SOURCE] にタッチする。
ソース選択画面が表示される。
- 2 [NAV.] にタッチする。
ナビゲーション画面が表示される。



ナビゲーション付属リモコンで操作を行う。

詳しい操作については、ナビゲーション側の取扱説明書をご覧ください。



- ソース選択画面上で、NAV.モードが表示されない場合は、「ナビゲーションモードを設定する」(9ページ)のNAV. MODEをNAV.に設定してください。

● タッチパネル対応ナビゲーション接続時 本機のソースを切りかえる場合

- 1) ナビゲーション画面で [J] にタッチする。
- 2) 画面右上の[CONTROL]にタッチする。
- 3) 画面左上の[SOURCE]にタッチし、ソース選択画面を表示させる。
- 4) ご覧になりたいソースにタッチする。

ナビゲーション側のソースを切りかえる場合

- 1) ナビゲーション画面で [J] にタッチする。
- 2) 画面左上の[SOURCE]にタッチし、ソース選択画面を表示させる。
- 3) ご覧になりたいソースにタッチする。

AUX 操作 (オプション)

AUX (外部入力) モードにする

外部機器 (ビデオデッキなど) を接続した場合にご使用ください。

- 1 各メインソース画面の【SOURCE】にタッチする。
ソース選択画面が表示される。
- 2 【AUX-1】* または【AUX-2】* にタッチする。
外部入力画面が表示される。



* 「外部入力に表示名をつける (9ページ) で設定した名称がソース名として表示される。

- ソース選択画面上で、AUXモードが表示されない場合は、「外部入力に表示名をつける」(9ページ)のAUX INをOFF以外に設定してください。
- ソース名称がAUX-1/AUX-2/GAME以外に設定されていると、操作画面 (ファンクションキー) が表示されます。また、ソース名がLINKの場合は【CONTROL】が表示され、タッチすると「AUDIO操作画面」と「EXT.DVD操作画面」が切りかわります。それぞれの操作画面については「他製品をタッチ操作する」(14ページ)を参照してください。尚、「AUDIO操作画面」は「DVD HU操作画面」のSOURCEスイッチがない画面になり、その他のスイッチ操作は同じになります。

S-VIDEO 操作 (オプション)

S-VIDEO (S 映像入力) モードにする

外部機器 (S 映像出力対応アルパイン製品) を接続した場合にご使用ください。

- 1 各メインソース画面の【SOURCE】にタッチする。
ソース選択画面が表示される。
- 2 【S-VIDEO】* にタッチする。
S 映像入力画面が表示される。



* 「外部入力に表示名をつける」(9ページ)で設定した名称がソース名として表示される。

- メインメニュー画面上で、S-VIDEOモードが表示されない場合は、「外部入力に表示名をつける」(9ページ)の設定項目:S-VIDEO MODEをS-VIDEOに設定してください。
- 操作画面 (ファンクションキー) については「他製品をタッチ操作する」(14ページ)を参照してください。またソース名称がS-VIDEOに設定されていると【CONTROL】が表示され、タッチすると「AUDIO操作画面」と「EXT.DVD操作画面」が切りかわります。尚、「AUDIO操作画面」は「DVD HU操作画面」のSOURCEスイッチがない画面になり、その他のスイッチ操作は同じになります。

他製品をタッチ操作する

他製品をタッチ操作する

本製品からの操作対応製品（IVA-D310J/IVA-D310EU/ IVA-D300J/DVA-9965J/DVA-9860J/DVA-5210/ DVE-5207/DHA-S680/TUE-T300 など）と組み合わせた場合、組み合わせた製品の一部の操作が可能です。可能な操作例は下記の通りです。

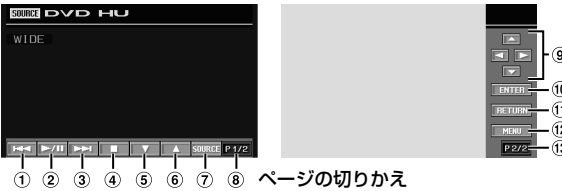


- 別売リモコンを使用して本製品と接続している機器の操作が可能です。リモコンによる操作説明はリモコン側の説明書をご覧ください。
- 組み合わせた製品によっては、一部の機能・操作が異なる場合があります。組み合わせた製品の説明書も合わせてご覧ください。

● IVA-D310J/IVA-D310EU/ INA-HD55/INA-HD55EU/ IVA-D300J/DVA-9965J/ DVA-9860J の内蔵 DVD・IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300J の内蔵 TV を操作する場合

- ・ AUX IN 2 端子又は S-VIDEO 端子へ接続し、「外部入力に表示名をつける」(9 ページ) を「DVD HU」に設定してください。

1 ディスプレイの任意の箇所にタッチする。
「DVD HU」操作画面になります。



	IVA-D310J/IVA-D310EU/INA-HD55/INA-HD55EU/ IVA-D300J/DVA-9965J/DVA-9860J内蔵DVDの操作	
	タッチ	長くタッチ
①	現在のチャプターの頭から再生	2 倍速早戻し / 5 秒以上で 8 倍速早戻し
②	再生 / 一時停止	—
③	1 つ後のチャプターの再生	2 倍速早送り / 5 秒以上で 8 倍速早送り 一時停止中はスロー再生
④	PRE STOP/STOP	STOP
⑤	—	—
⑥	—	—
⑦	本機に出力する接続した製品のソース切り換え	—
⑧	ファンクションガイドのページ切り換え	—
⑨	メニューカーソルの移動	—
⑩	DVD MENU の決定	—
⑪	MENU 画面を 1 つ前に戻す	—
⑫	DVD MENU の呼び出し	—
⑬	ファンクションガイドのページ切り換え	—

	IVA-D310J/IVA-D310EU/INA-HD55/INA-HD55EU/ IVA-D300J 内蔵 TV の操作	
	タッチ	長くタッチ
①	SEEK DOWN	—
②	チューニングモード切り換え (マニュアル / SEEK)	オートメモリー
③	SEEK UP	—
④	SEEK STOP	—
⑤	P.SET DOWN	—
⑥	P.SET UP	—
⑦	本機に出力する接続した製品のソース切り換え	—
⑧	ファンクションガイドのページ切り換え	—
⑨	—	—
⑩	—	—
⑪	—	—
⑫	—	—
⑬	ファンクションガイドのページ切り換え	—



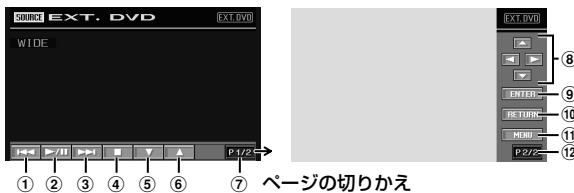
- IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300J を操作する場合は、IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300J 側の説明書「リアエントナー機能」をご覧ください。

● DVA-5210/DVE-5207/DHA-S680 を操作する場合

1 ディスプレイの任意の箇所タッチする。

「EXT.DVD」の操作画面になります。

- ・「外部入力に表示名をつける」(9 ページ)を「EXT.DVD」に設定してください。



ページの切りかえ

DVD プレーヤー (DVA-5210/DVE-5207) の操作		
	タッチ	長くタッチ
①	現在のチャプターの頭から再生	2倍速早戻し/5秒以上で8倍速早戻し
②	再生/一時停止	—
③	1つ後のチャプターの再生	2倍速早戻し/5秒以上で8倍速早戻し 一時停止中はスロー再生
④	PRE STOP/STOP	STOP
⑤	—	—
⑥	—	—
⑦	ファンクションガイドのページ切りかえ	—
⑧	メニューカーソルの移動	—
⑨	DVD MENU の決定	—
⑩	DVD プレーヤーの SETUP 画面を1つ前に戻す*	—
⑪	DVD MENU の呼び出し	DVD プレーヤーの SETUP 画面の呼び出し*
⑫	ファンクションガイドのページ切りかえ	—

* STOP 中のみ

DVD チェンジャー (DHA-S680) の操作		
	タッチ	長くタッチ
①	現在のチャプターの頭から再生	16倍速早戻し
②	再生	スロー再生
③	1つ後のチャプターの再生	16倍速早戻り
④	PRE STOP/STOP	—
⑤	DISC 切りかえ	—
⑥	DISC 切りかえ	—
⑦	ファンクションガイドのページ切りかえ	—
⑧	メニューカーソルの移動	—
⑨	DVD MENU の決定	—
⑩	DVD チェンジャーの SETUP 画面を1つ前に戻す*	—
⑪	DVD MENU の呼び出し	DVD チェンジャーの SETUP 画面の呼び出し*
⑫	ファンクションガイドのページ切りかえ	—

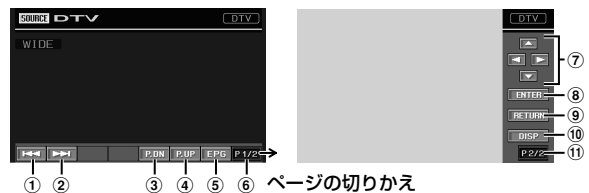
* STOP 中のみ

● TUE-T300 を操作する場合

1 ディスプレイの任意の箇所タッチする。

「DTV」の操作画面になります。

- ・AUX IN 1 端子 (D2 端子) へ接続し、「外部入力に表示名をつける」(9 ページ)を「DTV」に設定してください。



ページの切りかえ

地上デジタルTVチューナー (TUE-T300) の操作		
	タッチ	長くタッチ
①	CH DOWN	連続 CH DOWN
②	CH UP	連続 CH UP
③	P.SET DOWN	—
④	P.SET UP	—
⑤	EPG 表示	—
⑥	ファンクションガイドのページ切りかえ	—
⑦	カーソルの移動	カーソルの連続移動
⑧	ENTER	—
⑨	RETURN	—
⑩	受信情報表示	—
⑪	ファンクションガイドのページ切りかえ	—

● VPE-S431 を操作する場合

- ・AUX IN 2 端子へ接続し、「外部入力に表示名をつける」(9 ページ)を「LINK」に設定してください。

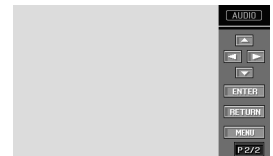
1 ディスプレイの任意の箇所タッチする。

操作画面になります。



Memo

- ソースによって使用するボタンが異なります。
[CONTROL]をタッチしAUDIO操作画面又はEXT.DVD操作画面に切りかえてご使用ください。
- 詳細については別売拡張BOX (VPE-S431) の取扱説明書を参照してください。





取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

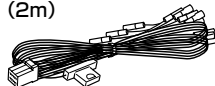
1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
・RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA 考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 不明な点はお買い上げの店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード
(2m)

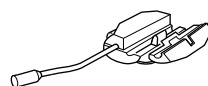


マジックテープ
(TVチューナー用)

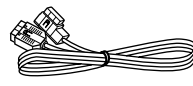


×2

パーキングブレーキ
補助リード線



モニターコード
(2.5m)



TVスタンド



コードクランプ



×3

クリーナー



TVスタンド
固定用ネジ
(M4×12)



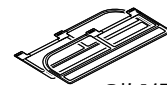
×3

TVチューナー
固定用ネジ
(M4×14)



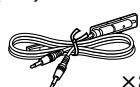
×4

フィルムアンテナ



2枚1組

アンテナ入力コード
(4m)



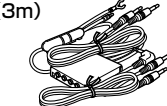
×2

コードクランプ

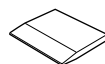


×8

ブースター付コード
(3m)



ゴムべら



アーステープ

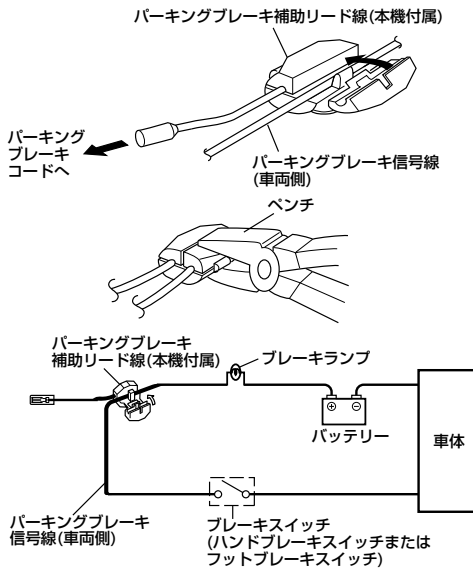


- バッテリーのマイナス端子を外す。



3. 接続する

- 23～25 ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。(26～28 ページ参照) ご希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続することに✓点をつけてください。
- 車両側のパーキングブレーキ信号線に、パーキングブレーキ補助リード線を装着する。
パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。
 - パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。



- 本機に電源コードを接続する。「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点があればいいか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをON にして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。



- 車両雑音から守るために
- ・ アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- ・ 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- ・ バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ・ ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

4. チューナー BOX を取り付ける

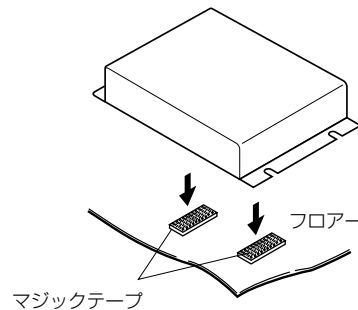
マジックテープで取り付ける場合は必ず平らな場所を選んでください。
チューナーが逆さまになるような位置には取り付けないでください。

● マジックテープで取り付ける場合

- マジックテープを貼る。
本機底面にマジックテープのざらざらしたほう2枚を貼ります。
- 取り付け位置にマジックテープを貼る。
マジックテープのやわらかいほう2枚を取り付け位置に貼り、本機を取り付ける。



- カーペットによっては、マジックテープのやわらかいほうを貼りつけなくても固定できるものもあります。



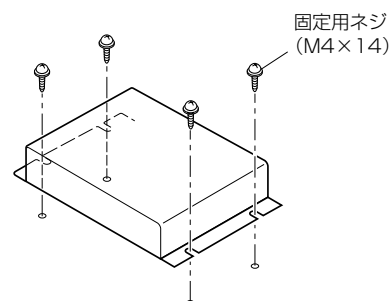
● 直接床に取り付ける場合

- 取り付け場所を設定する。
- 取り付け場所の取り付けネジ位置に印をつける。
- ドリルで 3mm 径以下の穴を開ける。



警告 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。
事故・火災の原因になります。

- 付属の固定用ネジ (M4 × 14) 4 本で本機をしっかりと取り付ける。





5. モニターを取り付ける

モニター取り付け位置について

国土交通省の道路運送車両の保安基準の一部改正（平成17年1月1日より適用）により前方視界基準が設定されました。

ダッシュボード上にモニターやポータブルナビゲーションなどを取り付ける際には、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

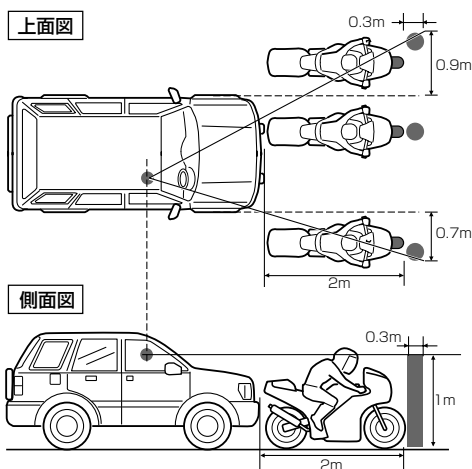
■ 前方視界基準

● 対象車種

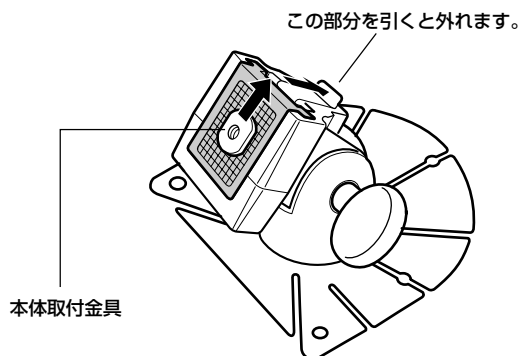
- ① 専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
- ② 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車（いずれも使用過程車を含む。）

● 基準概要

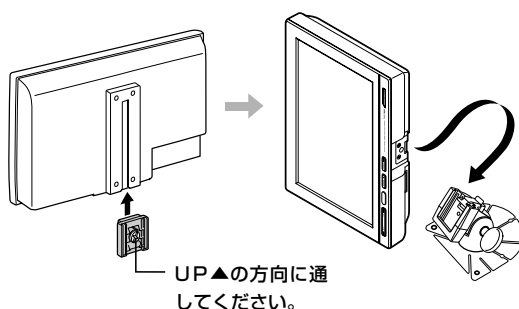
- ・ 自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したものを）を鏡等を用いず直接視認できること。



1. モニタースタンドから本体取付金具を取外す。



2. 取り外した本体取付金具をコインなどでゆるめ、本体裏面の溝に通して仮留めし、スタンドに固定する。



3. 取り付け位置を確認する。
TV スタンドをガムテープで仮留めする。
モニターを調整ねじで、見やすく安全な位置に調整する。

安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- 安定しているしっかりした場所
- モニターを付けて運転したときに視界を妨げない場所
- シートベルトを締め、前かがみになった状態でモニターにぶつからない場所
- ハンドルを切る操作でモニターにぶつからない場所
- エアバッグ作動の邪魔にならない場所



Memo

- ダッシュボードの表面が、本革・木製パネル・布張りなど樹脂製でない場合は、スタンドをはがすとき表面を傷めることがありますのでご注意ください。
- 空調機の吹き出し風がモニターに直接かからないようにしてください。

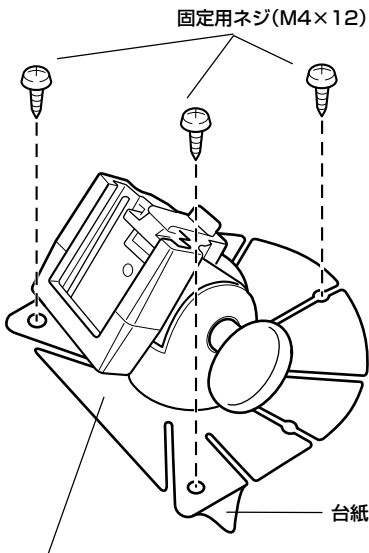
4. スタンドからモニターを外す。



5. TV スタンドの台紙をはがし、貼り付ける。
付属のクリーナーを使用して、貼り付け場所の汚れを拭き取り、貼り付ける。

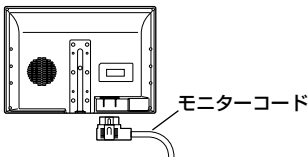


- 車内温度が低い時(冬季)には、貼り付ける側をドライヤーなどで暖めてから、貼り付けてください。
- TV スタンドにモニターを固定することで、TV スタンドがはがれる方向に力が加わる場合、24時間はモニターを固定しないでください。
- 確実な貼り付けができないときは、固定用ネジ(付属品)による取り付けをお薦めします。



貼り付け面が曲面のときは、この部分を形状に合わせて曲げてください。

6. モニターに、モニターコードを接続する。
モニター側のTVチューナー接続端子に、モニターコードのコネクターを「カチッ」と音がするまで差し込む。



7. 手順「2」を参考にモニターをスタンドに取り付ける。
コードは、コードクランプを使って固定する。



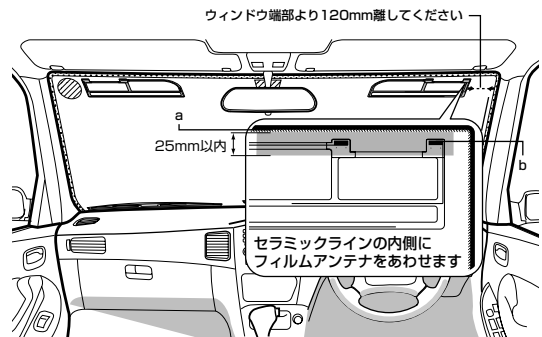
- お使いになる前に「モニターとスタンド」「スタンドと車側の取り付け」がしっかり固定していることを確認してください。

6. フィルムアンテナの取付

- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めして、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- フィルムアンテナは、フロントガラスに貼り付けてください。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。

1. フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する。
(フィルムアンテナの形状は、車両左側と車両右側で異なります。「フィルムアンテナ接続図」(22 ページ) で取り付ける側の形状を確認してから取り付けてください。)

- ① フィルムアンテナの給電端子をセラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープで仮止めする。
- ・ 車両左側、車両右側共に、フィルムアンテナの端をフロントガラス端部より 120mm 程度離してください。



- a...セラミックライン
b...フィルムアンテナの給電端子



- 図の  部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けしないでください。
- 給電端子は、必ず指定範囲内に貼り付けてください。指定範囲外に貼り付けると、国土交通省が定める保安基準に適合しませんので、注意して貼り付けてください。
- アース端子は、必ず車両金属部分に貼り付けてください。それ以外に貼り付けた場合は、受信感度が低下し本来の性能が発揮できなくなります。

- ② フィルムアンテナの左右の位置をセロハンテープ等でマーキングする。

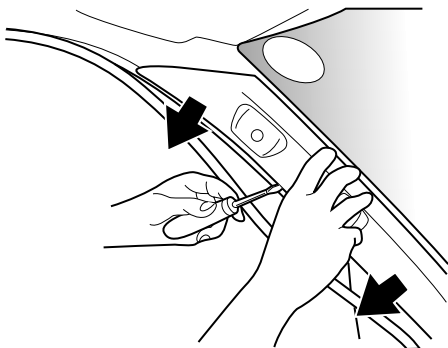


取り付けと接続

2. アンテナコードを配線するために、内装部品（内張りなど）を取り外す。

※ ここではまだ配線しないでください。

- ① フロントピラー（左右）を取り外す。
またフロントウィンドウ上側の車体面にて作業するため、必要に応じてマップライト、サンバイザー、天井の内張り等も外す。

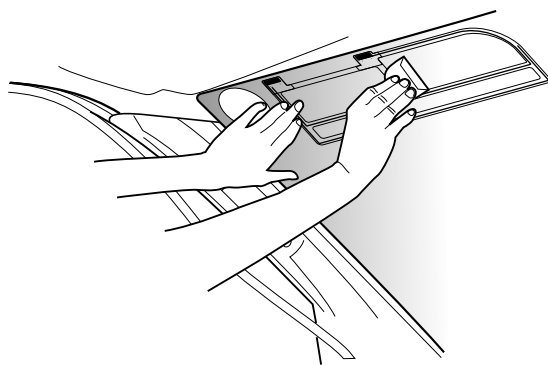


⚠ 注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。

3. フィルムアンテナを貼り付ける。

- ① 仮止めしたフィルムアンテナを取り外す。
- ② フロントウィンドウの汚れ（ごみ・油など）やくもり止めをきれいに拭き取る。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
- ③ 中性洗剤の水溶液を、霧吹きなどでフロントウィンドウ（車内側）に吹き付ける。
- ・ 水 500cc に対して、中性洗剤 1 ～ 2 滴が適量です。（水だけではうまく微調整できません。）
- ④ 粘着面がある裏面シートをはがして、中性洗剤の水溶液を十分に吹きつける。
- ⑤ アンテナを貼り付ける。
- ・ フロントウィンドウが濡れているうちにアンテナ位置を微調整してください。
- ⑥ ゴムべらで、アンテナをしっかりと密着させる。
- ・ アンテナに沿って、気泡が入らないようにしっかりと密着させて下さい。
 - ・ あまり強くこすらないで下さい。



- ⑦ ペーパータオルなどで中性洗剤の水溶液を拭き取り、十分に乾燥させる。
- ・ 乾燥には 3 ～ 4 時間を要します。

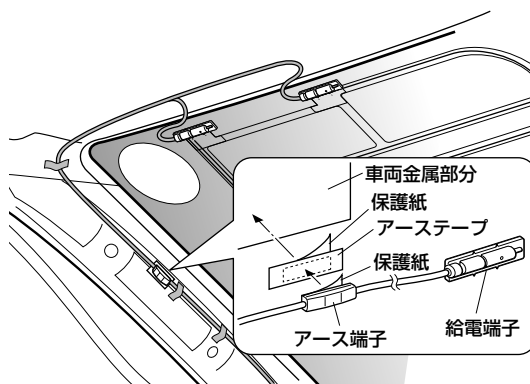


Memo

- 自動車検査証や定期点検シールにフィルムアンテナを重ねて貼らないでください。
- ドライヤー等で無理に乾かすとフィルムアンテナの破損の原因になります。
- フィルムアンテナが完全に乾くまで給電端子を取り付けしないでください。

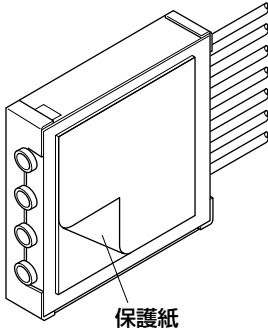
4. コードを配線する。

- ① アンテナ貼り付け位置を目安に、アンテナ入力コードを配線する。
- ・ 実際に配線する前に、コード類を市販のセロハンテープなどで仮止めし、給電端子の先端部がフィルムアンテナの金属部に届く位置にくるように調整して下さい。
- ② アース端子が貼り付けられる範囲の車両金属部分にアーステープを貼り付ける。その際車両の塗装は、はがさないでください。
- ・ 貼り付け面の汚れはよく拭き取ってください。
- ③ アーステープ上にアース端子を貼り付ける。





- ④ ダッシュボード裏などに、ブースターを貼り付ける。

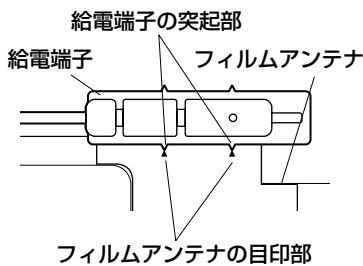


- ⑤ アンテナ入力コードのプラグ部をブースターに接続する。
 (「フィルムアンテナ接続図」22 ページを参照ください。)

5. 給電端子をフィルムアンテナに取り付ける。

- ① 十分に乾燥したことを確認し、アンテナの表面保護用ビニールをはがし、給電部保護シートをはがす。
- ② 給電端子の突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付ける。
 - ・ アース端子から給電端子までのコードが長い方をフィルムアンテナの車両中央よりの給電部に、短い方をもう一方の給電部に貼り付けます。

<車両左側の取り付け例>



6. 配線および内装部品（内張など）を元に戻す。

- ① ブースター付コードのプラグ端子をチューナーBOXへ接続する。(「フィルムアンテナ接続図」22 ページを参照してください。)
 - ・ 各アンテナ入力コードにしるしている番号、名称をブースターの挿入口にあわせて接続する。
- ② ACC電源コードを車のACCポジションで電源が供給されるコードへ接続する。
- ③ アースコードを車体の金属部分へ固定する。
- ④ 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品（内張など）を元に戻す。

⚠ 注意

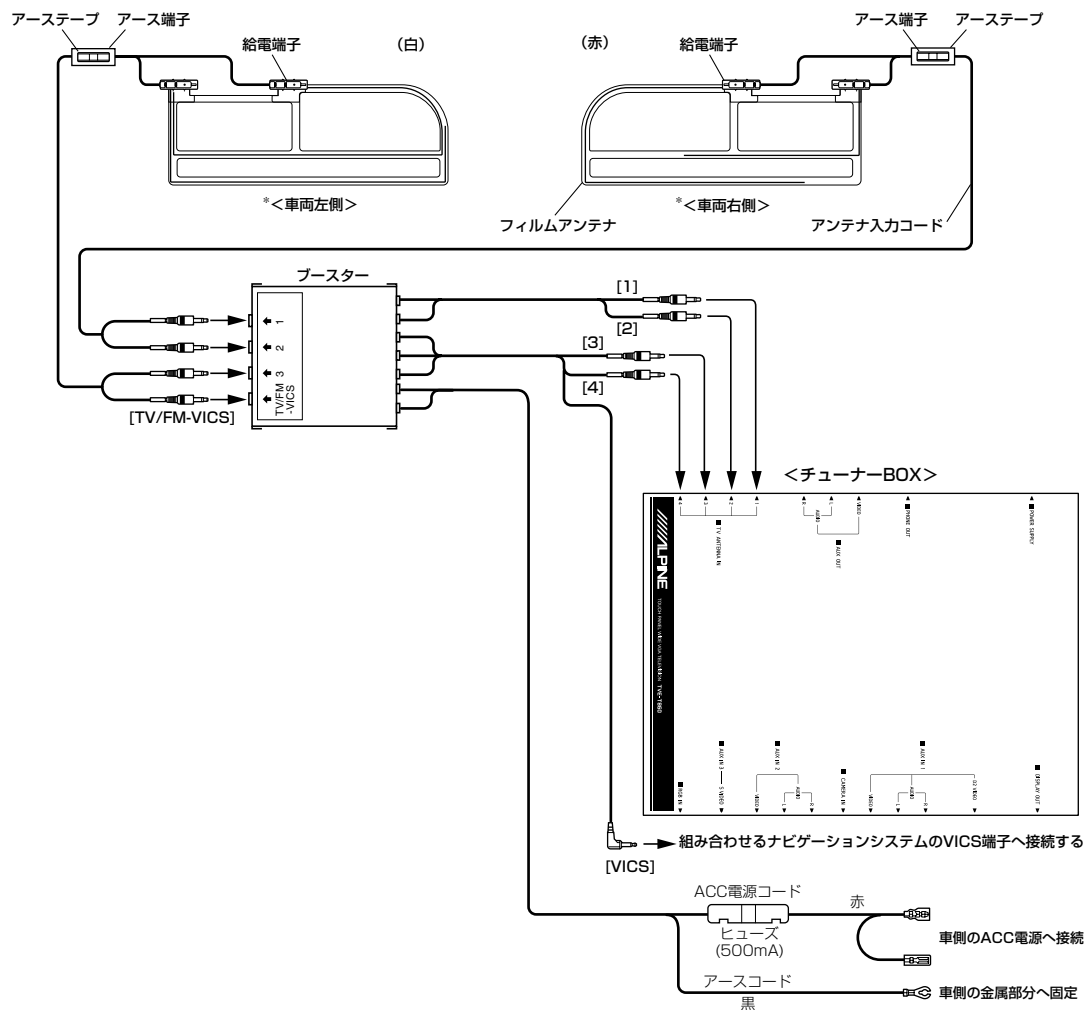
- 天井などの内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電端子はフィルムが乾いている事を確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとフィルムははがれます。
- 給電端子は正しい位置に貼り付けないと、端子のスレや浮きなどの原因になり、本機の性能が発揮できません。
- 給電端子に負担を掛けないよう給電端子を手で押さえずながらコードの配線を行ってください。

7. 確認する

1. コード類を固定する。
 シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
2. バッテリーマイナス端子を接続する。
3. イグニッションキーをON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
4. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



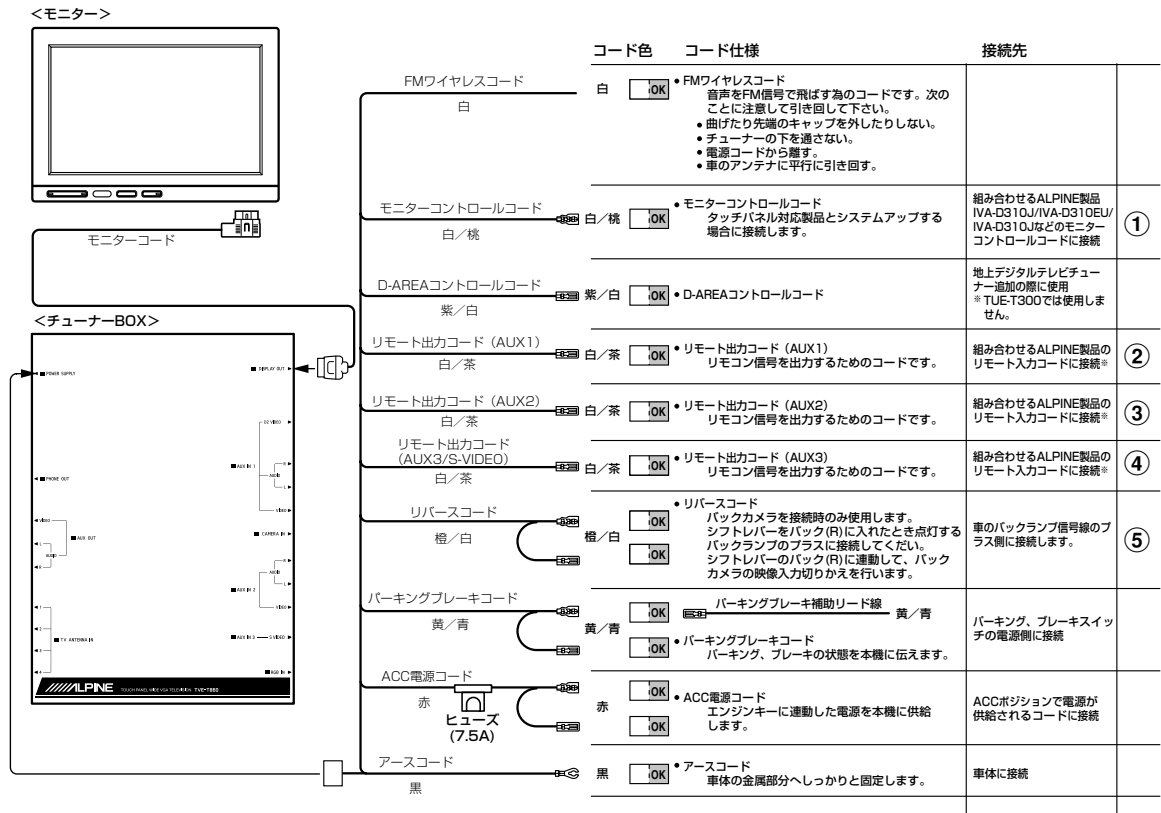
フィルムアンテナ接続図



* 車内からみた左右位置になります。



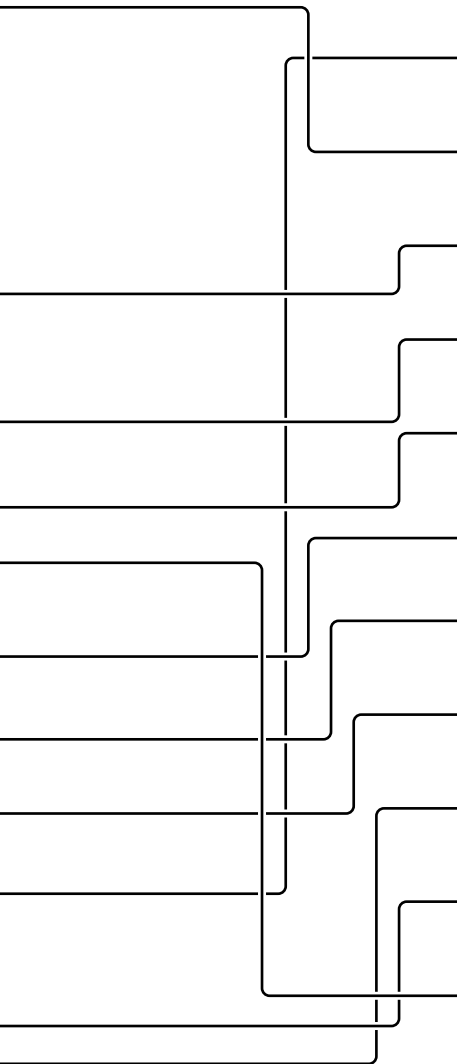
基本接続図



Memo

- 接続先の丸番号は、「他製品との接続」(26～28ページ)で使います。
- アンテナコードの1本には「TV/FM-VICS」と表記されていますが、他のコードと同様に使用できます。アンテナコードは他のコード類からなるべく離して配線してください。近づけたり、他のコード類と束ねたりするとノイズの原因になります。



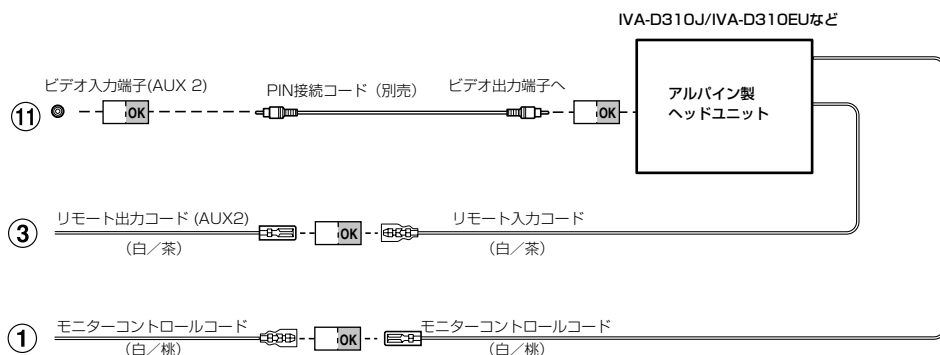


端子仕様	接続先	
 RGB入力端子 (13P) RGB方式の映像/音声/リモコン出力などの信号を入力します。	組み合わせるナビゲーションのRGB出力端子に接続	⑥
 PHONE OUT 端子	別売のヘッドホンと接続	
 D2映像入力端子 D2映像信号を入力します。	組み合わせる製品のD映像出力端子に接続	⑦
 オーディオ入力端子 (AUX 1) DVDプレーヤー/ビデオなどの音声信号を入力するための端子です。	PIN接続コードでDVDプレーヤー/ビデオに接続	⑧
 ビデオ入力端子 (AUX 1) DVDプレーヤー/ビデオなどの映像信号を入力するための端子です。	PIN接続コードでDVDプレーヤー/ビデオに接続	⑨
 オーディオ入力端子 (AUX 2) DVDプレーヤー/ビデオなどの音声信号を入力するための端子です。	PIN接続コードでDVDプレーヤー/ビデオに接続	⑩
 ビデオ入力端子 (AUX 2) DVDプレーヤー/ビデオなどの映像信号を入力するための端子です。	PIN接続コードでDVDプレーヤー/ビデオに接続	⑪
 S映像入力端子 (AUX 3) S映像信号を入力します。	組み合わせる製品のS-映像出力端子に接続	⑫
 ビデオ出力端子 (AUX OUT) 映像信号をリアモニターなどに出力するための端子です。	PIN接続コードでリアモニターに接続	⑬
 オーディオ出力端子 (AUX OUT) 音声信号をリアモニターなどに出力するための端子です。	PIN接続コードでリアモニターに接続	⑭
 バックカメラ用ビデオ入力端子 映像を入力します。	バックカメラ製品のビデオ出力に接続	⑮

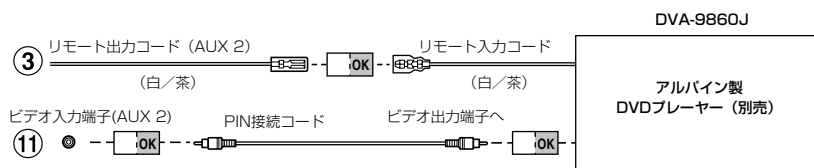


他製品との接続

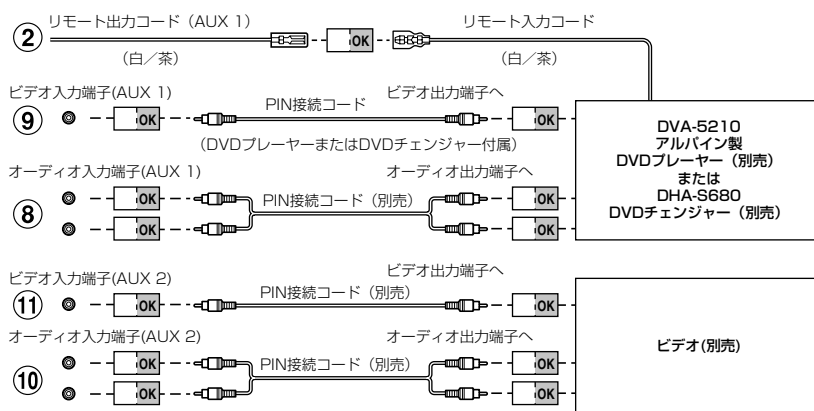
1) ヘッドユニットを接続する



2) DVD プレーヤーを接続する。



3) DVD プレーヤーまたは DVD チェンジャーおよびビデオを接続する。

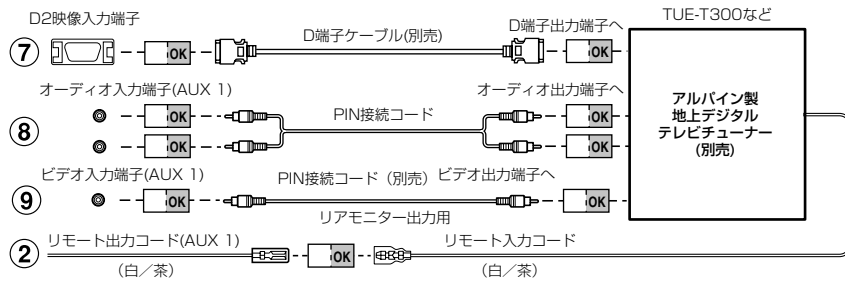


Memo

- DVDプレーヤーが DVA-5200の場合は、Ai-NET-PIN 接続コード(KCA-120B 別売)をお使いください。
- 接続するビデオデッキによっては、音が歪むときがあります。その際は、ビデオデッキ側の説明書をご覧ください。



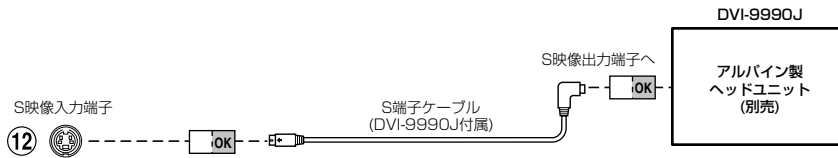
4) 地上デジタルテレビチューナー（D2 出力端子）を接続する（D2 端子接続）。



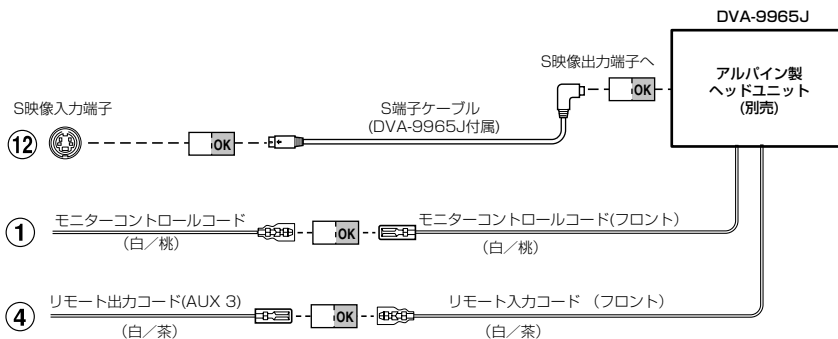
Memo

- AUX IN 1にD2映像とビデオ映像が接続された場合は「D2 映像」が優先されます。
- リアモニターなどAUX OUTに地上デジタルテレビチューナーの映像を出力する場合はビデオ入力端子(AUX 1)を接続してください。

5) S 映像出力端子を持つ ALPINE 製品（S 映像出力端子）を接続する（S 端子接続）。



6) S 映像出力端子を持つ ALPINE 製品（S 映像出力端子）を接続する（S 端子接続）。



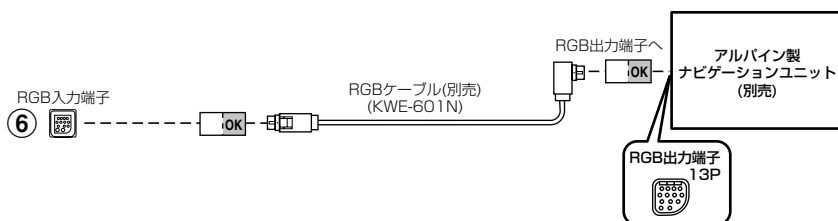


取り付けと接続

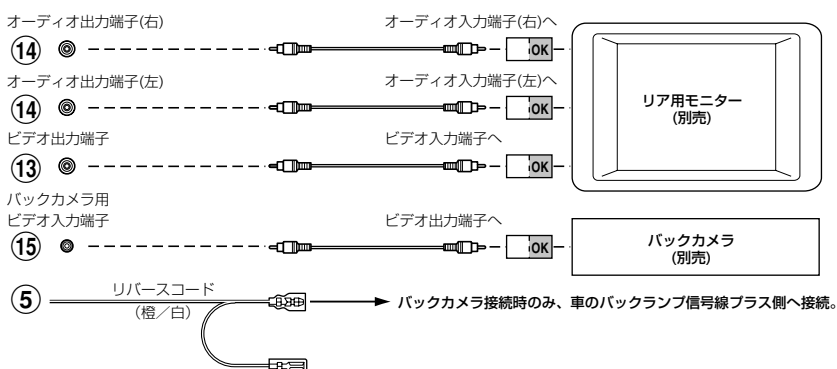
7) ナビゲーション (RGB 出力端子 13P) を接続する (RGB 接続)。



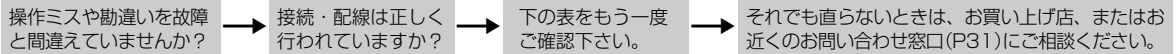
- 本機とナビゲーションシステムを接続する場合、別売またはナビゲーション製品付属のRGBケーブルを使用してください。もし、RCAで接続した場合には、本機からのナビゲーションや割り込み機能の操作はできません。
- NV7-N099S/NV7-N099SSと接続した場合は、リアモニターへのナビゲーション映像出力はされません。



8) リアモニターおよびバックカメラを接続する。



故障かな？と思ったら



- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行なってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。(→P23)
- エンジンがかかっていないか、キーポジションがACCになっていない。
 - ・ エンジンをかけるかキーポジションをACCにする。
- 車のバッテリー電源が低下している。
 - ・ バッテリー電源及び配線を確認する。
(負荷状態で11ボルトを下回ると誤作動の原因となります。)

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。(→P5)
- FMトランスミッター周波数がラジオの周波数と合っていない。
 - ・ ラジオの周波数と合わせる。
- 他のFM局と混信している。
 - ・ FMトランスミッター周波数を変更する。

ディスプレイが暗い。

- DIMMERがLOW設定になっている。
 - ・ DIMMERをHIGHまたはAUTOにする。(→P8)
- DIMMER LEVEL HIGHがMIN設定になっている。
 - ・ DIMMER LEVEL HIGHを調整する。(→P9)
- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

ディスプレイが表示しない。

- パーキングブレーキコードを接続していない。
パーキングブレーキをかけていない。
 - ・ パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかける。
- モニターの蛍光管が消耗している。
 - ・ モニターの蛍光管を交換する。

映像に斑点やしま模様が出る。

- ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響。
 - ・ 妨害電波を受けない場所に車を移動する。

映像が二重三重になる。またはゆれる。

- 近くの山やビルで電波が反射している。
 - ・ 他の場所に車を移動する。アンテナの位置、方向、高さを調節する。

カーラジオに雑音が入る。

- テレビ内部の高周波がカーラジオに混入。
 - ・ カーラジオのアンテナ線や配線をテレビからはなす。

規格

モニター部

画面サイズ	8.0型ワイド
液晶	透過型TN液晶
駆動方式	TFTアクティブマトリックス
画素数	1,152,000
有効画素数	99.99%以上
照明方式	冷陰極蛍光管
外形寸法	205(幅)×145(高さ)×35(奥行)mm
重量	700g

TVチューナー部

アンテナ入力	4chダイバー(75Ω)
受信方式	NTSCカラー方式
回路方式	PLL周波数シンセサイザー
受信チャンネル	VHF1~12ch、UHF13~62ch
Sビデオ入力	Y: 1Vp-p (75Ω) C: 0.286Vp-p(75Ω)
D2ビデオ入力	Y: 1Vp-p (75Ω) Pb/Pr: ±350mV(75Ω)
AUX入力レベル (ビデオ)	1Vp-p (75Ω)
(オーディオ)	1200mV (RMS)
AUX出力レベル (ビデオ)	1Vp-p (75Ω)
(オーディオ)	1200mV (RMS)
外形寸法	222(幅)×164(高さ)×30(奥行)mm
重量	920g

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲: 11~16V)
アース方式	アース
動作温度範囲	0℃~45℃

- 蛍光管は保証期間内であっても、消耗品につき有償交換となります。
- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。



- 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または31ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または31ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成 18 年 1 月 15 日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 土日祝日、
弊社休業日を除く 9:30～17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせを
おすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

その他

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴字羽黒104-1 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県/山形県/秋田県 福島県 青森県/岩手県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-48-4772 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部/埼玉県/群馬県/栃木県 長野県/山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部/千葉県/茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部/神奈川県/ 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中区栄3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県/三重県/岐阜県/ 静岡県(大井川以西) 石川県/富山県/福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府/奈良県/和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県/島根県/鳥取県 広島県/山口県 徳島県/香川県/愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号 ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県/大分県/佐賀県/熊本県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府/滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズ サービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/ 新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/ 岡山県/島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/ 徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

